

平成28年度に建設工事で発生した事故事例（建設機械による事故）

【事故概要】

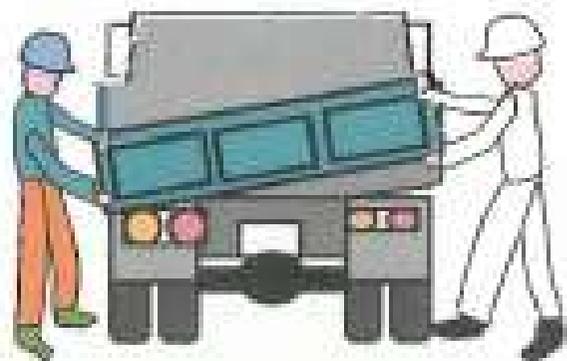
2tダンプトラックに積載した土砂の荷下時に、作業員二人でダンプトラック後方のアオリを取り外そうとしたところ、バランスを崩し、アオリが左すねに落ち負傷

【事故原因】

- ・作業手順にない作業を本人だけの判断で行った
- ・共同作業者はアオリの取り外し経験がなかった（最初にバランスを崩した）

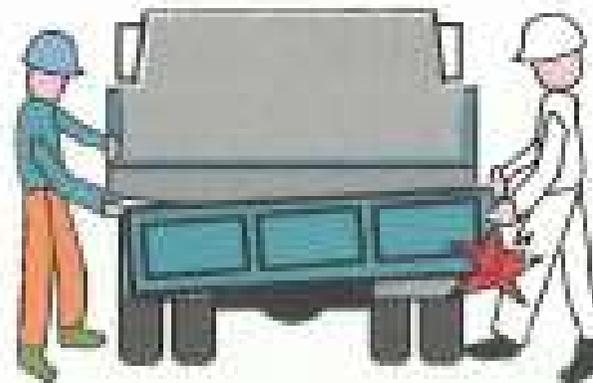
【改善対策】

- ・作業手順書を整備・共有し、手順確認と危険防止を図る
- ・作業初心者には、経験者が指導の上、作業にあたらせる



共同作業者

想定外の重さにバランスを崩す



被災者

被災者もバランスを崩して、左足すね部にアオリが落下

分類: 土工、Dtその他

被害状況: 左足すね部の裂傷、休業なし

平成29年度に建設工事で発生した事故事例（土砂落下による道路封鎖）

【事故概要】

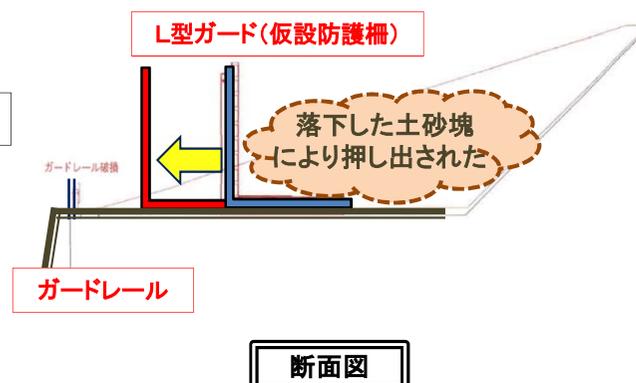
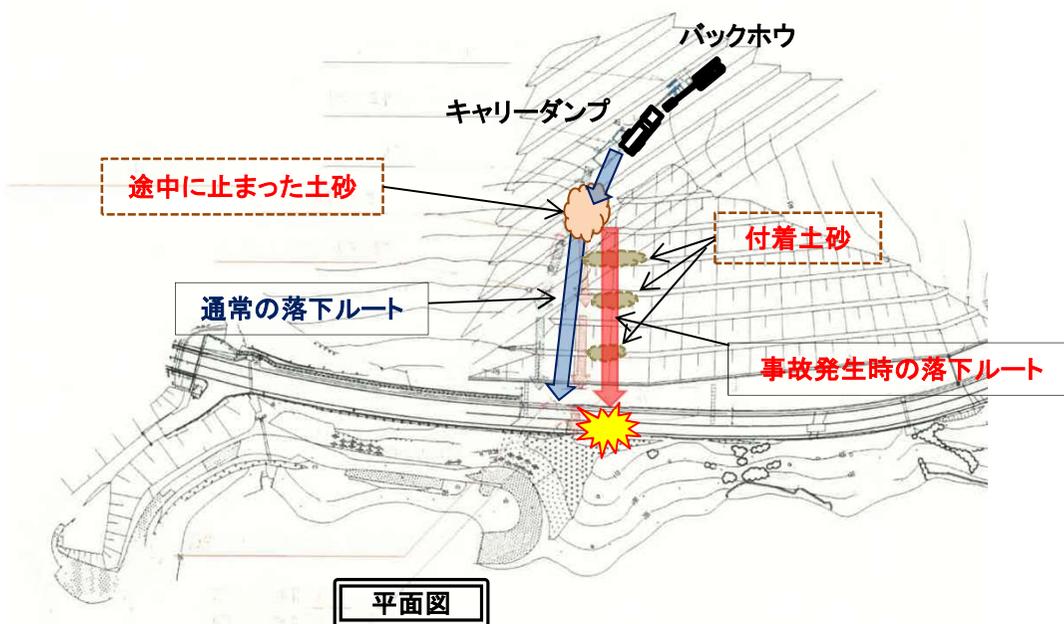
地すべり対策事業の排土工事をバックホウで掘削、キャリアダンプで運搬し、自然斜面上から掘削土を落下させていた。隣接するコンクリート吹付法面上には、昨年の作業による土砂が付着しており、降雨の影響で流動しやすくなっていた。作業当日は、自然斜面途中で土砂が止まっており、コンクリート吹付法面上に落下した土砂の重みで、付着していた土砂と土砂塊になって一気に流れ出て道路を封鎖した、また仮設防護柵、ガードレールを損壊した。

【事故原因】

- ・自然に法尻まで落下するものと経験的な想定で判断していた
- ・斜面途中で土砂が堆積していたことも確認していたが、問題ないと判断していた
- ・コンクリート吹付法面上に付着していた土砂が降雨の影響で流動しやすくなっていた
- ・斜面途中の堆積土、付着土を除去しなかった

【改善対策】

- ・作業一時中断の今の基準である時間10mmに、連続雨量50mmを加える
- ・土砂は自然斜面方向へ落下させる
- ・落下させる自然斜面部は、できる限り溝状に掘削し、溜まった土砂は随時除去する
- ・土砂落下部の窪地を拡大するとともに、堆積土砂は搬出し、絶えず半分以上の土砂容量を確保する



分類: 土工、その他

被害状況: 道路全面封鎖(封鎖による孤立は無し)、仮設防護柵・ガードレールの損壊

令和3年度に建設工事で発生した事故事例（建設機械事故）

【事故概要】

水田ほ場の暗渠排水工事において、碎石用投入機車両が、ほ場端部で碎石投入後停止していたところ、後続車の粃殻用投入機車両が接触し、碎石用投入機車両運転手が追突により受傷した。

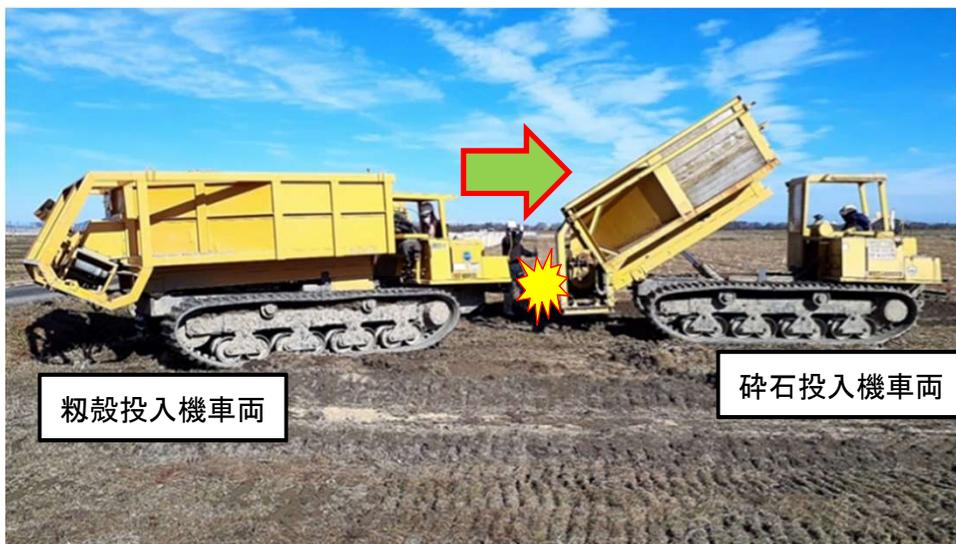
【事故原因】

・粃殻用投入機車両運転手は、作業の慣れから合図者の合図をよく確認せずに漫然と機械車両を前進させた。

【改善対策】

・合図者は、これまで腕振のみの合図であったが、視認性等を高めるため手旗及びホイッスル使用により合図する。
・本事故の事例を踏まえた安全教育を実施する。

事故現場状況写真



接触箇所



【分類】土 工 、 その他

【被害状況】 業者人身 男1人 頸椎捻挫(全治2週間)

令和4年度に建設工事で発生した事故事例（埋設物事故）

【事故概要】

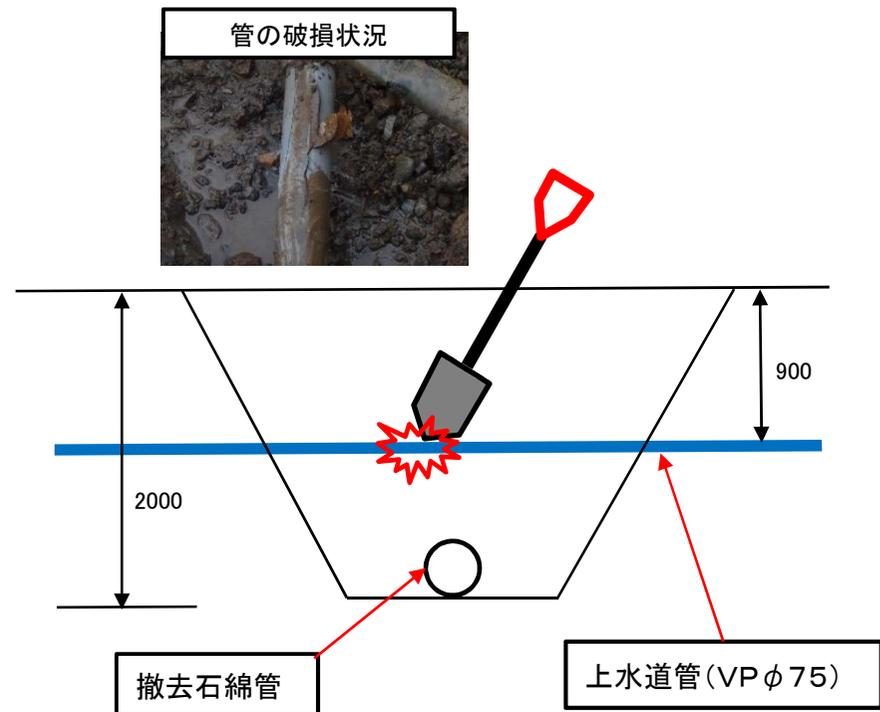
石綿管撤去作業に先立ち、石綿管の上を横断する上水道管(VP管φ75mm)を保護するため、付近の土砂を人力で掘削していたところ、剣スコップ(丸型)の先端部が水道管に接触し管が損傷し漏水した。

【事故原因】

・水道管付近の土砂を人力にて管頂部を出し管横の土砂を剣スコップにて撤去していた際に、作業員の不注意により剣スコップの先端部で水道管に衝撃を与えたことが原因。

【改善対策】

・埋設物の周囲では、埋設物が完全に露出するまで手掘りを原則とし、スコップが直接、埋設物に触れないよう慎重に行うこと。



【分類】 土工 その他

【被害状況】 公衆物損 2軒断水 5時間25分